



人同協だより

平成 28 年 8 月 26 日 発行 常磐地区人権・同和教育推進協議会

平成 28 (2016) 年度 常磐地区人同協の事業スタート!



辻山 忍 会長

常磐地区人権・同和教育推進協議会（人同協）の会長となり、3年目となりました。今年度は、さらに前進していくために、「専門部会」（事業部・研修部・啓発部・広報部）を構成しました。

部会ごとに連携をとりながら、活動することと、地域のみなさまのご参加、ご協力をいただくことで、事業の充実と地域における人権教育の深まりが期待できると考えています。

今年度も、人同協が行う人権啓発活動に、ご参加、ご協力いただきますようあらためて、よろしくお願い申し上げます。



5月19日 常磐地区市民センター2F 大会議室にて「総会」開催

1. 平成 28 年度 常磐地区人同協「総会」により役員 & 事業計画が決定しました。

新年度の役員とその主な役割は次のように決まりました。（敬称略）

役員	氏名	所属	主な役割分担（専門部を設置）
会長	辻山 忍	連合自治会	
副会長	五味 吉明	啓発委員	兼) 事業部長（地区懇・常磐まつり等）
副会長	伊達 眞理子	民生児童委員	兼) 研修部長（啓発委員研修・視察研修等）
副会長	牧野 鉦	四日市保護司会常磐分会	兼) 啓発部長（人権標語・教育講座等）
副会長	鈴木 茂見	常磐地区子ども人権文化育成協議会	
書記	加納 剛	常磐中学校 P T A	
書記	太田 有希	常磐小学校 P T A	
書記	橋本 将臣	常磐西小学校 P T A	
会計	川村 浩	赤堀人権のまちづくり推進委員会	兼) 広報部長（人同協だより等）

2. 事業計画について

平成28年度 基本方針

- 1) 常磐地区人権・同和教育推進協議会（人同協）は、一人ひとりの人権が大切にされる地域社会の実現に向け事業を積極的に展開し、人権教育の推進に努めます。
- 2) 人同協委員（啓発委員を含む）は人権教育を進めるため、地域における推進役としての自覚をもって人同協の事業に積極的に参加するとともに、自らも不断の努力によって人権意識の高揚に努めます。
- 3) 学校教育と社会教育は連携して、地域における人権教育の推進に努めます。
- 4) 人同協を構成する各団体は人権学習の成果をふまえ、それぞれの団体の活動において人権が尊重されるように努めます。

平成28年度 主な事業計画

事業名	内 容
1. 会 議	・総会 5月19日（木） ・役員理事会（6月、8月、10月、11月、1月、3月） ・役員会（随時）
2. 地区懇談会	・各地区にて開催（詳細別掲 3頁参照）
3. 研 修	・視察研修 / 比叡山延暦寺を訪ねて（6月25日） ・啓発委員研修 / 気づきから始めよう（9月9日） ・西南ブロック合同人権講演会（12月10日） ・その他の研修への参加
4. 人権記念事業	・常磐まつり（11月6日）「人権のひろば」出展
5. 人権啓発事業	・人権標語募集（募集締め切り9月16日） ・教育講座（2月）
6. 広報活動	・広報紙「人同協だより」 8月,11月,1月,3月（年4回,発行）

3. 人権のまちづくりをめざす「地区懇談会」について

- 1) 地区懇談会は、各地区自治会の協力を得て、人同協の主催により本年度も開催します。

下記は「平成28年度 地区懇談会 実施要項」より抜粋

1. 開催の趣旨

お互いの人権が尊重される地域社会の実現のため、身近な話題を話し合う「懇談会」を開催します。これは、より多くの住民が参加し、自由に疑問や考えを出し合い、人権のまちづくりをめざすために行うものです。

2. 主 催 常磐地区人権・同和教育推進協議会

3. 共 催 常磐地区連合自治会

4. 対 象 常磐地区住民

5. 開催単位 従来のブロック・単位自治会単独など、いずれの形式でも結構です。

6. 運 営 開催単位ごとに相談して決めて下さい。

7. 開催時期 7月～11月をめどに開催

2) 開催趣旨をご理解の上、平成28年度人権の地区懇談会に一人でも多くの方の参加をお願いします。開催単位、日程、場所、内容等については下表をご覧ください。(8月17日現在)

項	開催単位(自治会)	代表者	開催日・時間	会場	内容
1	石塚町二・三区(実施済)	鎌田二三男	7/23(日)19:00~	市民センター	人権・どない 思われますか?
2	大井手一丁目南・北・二・三丁目	川瀬五十六	9/24(土)19:30~	大井手集会所	DVD「ほんとの空」
3	石塚町一区	阪本 義信	10/1(土)19:00~	石塚一区集会所	DVD「ほんとの空」
4	久保田第一・第二・第三	杉山 増夫	10/2(日)9:00~	久保田集会所	DVD「ほんとの空」
5	城東町・城北町	川村 清治	10/2(日)19:00~	城東倶楽部	DVD「高齢者の人権」
6	松本町一・二・三・西・松本青葉台・東紡製絨町・ベルビュー松本	木寺 秀臣	10/9(日)19:00~	メリーゴーラウンド	DVD「高齢者の人権」
7	赤堀南三区	中村 健二	10/16(日)10:30~	赤堀南三区集会所	DVD「高齢者の人権」
8	伊倉一・二・三丁目・西伊倉町	藤江 明	10/16(日)19:00~	伊倉公会所	DVD「高齢者の人権」
9	城西町	倉田 哲	10/22(土)19:00~	城西町集会所	DVD「高齢者の人権」
10	ときわ一・二丁目	伊藤比呂志	10/23(日)10:00~	ときわ集会所	インターネット時代の人権
11	松本町西	長谷川 博	10/23(日)19:00	常西小視聴覚室	DVD「ほんとの空」
12	赤堀一・二東・二中・二西・新町 赤堀南町	西川 莞爾	11/9(水)19:00~	赤堀一丁目集会所	DVD「高齢者の人権」
13	赤堀南二区	辻山 忍	11/11(金)19:00~	赤堀南二区公会所	DVD「高齢者の人権」
14	ときわ三・四・五丁目	坂口 騰	11/12(土)19:00~	ときわ第二集会所	人権マップ
15	西松本町・松本台・青葉町 陽光台南松本町・メイツ四日市	谷村 剛司	11/12(土)19:00~	青葉町集会所	DVD「ほんとの空」
16	中川原一東・一西・二・三・芝田町	江川 秀勝	11/20(日)10:00~	地区市民センター	人権マップ

(注)一部の自治会名は略式で記載しています。

4. お知らせ

1) 平成28年度 人権啓発標語の募集中(締め切り9月16日)

あなたの考える「人権」は、どんなものですか? 時には立ち止まって、あらためて考えてみませんか。日々の暮らしの中で、「人権」を考え、感じたことをあなたからのメッセージとして、標語にしてみてください。

(入選作品は12月10日「人権講演会」で表彰の予定)

・お問い合わせ及び提出先は

「常磐まちづくり会議事務局」へ

~ 昨年度的最優秀人権啓発標語から ~

- ・常磐小学校の部「なやんだら 話してみよう 友達に」
- ・常磐西小学校の部「やさしさは みんなも自分も 強くする」
- ・常磐中学校の部「考えよう 軽い一言 深い傷」
- ・一般の部「あたたかな 心と行動 地域のわ」

2) 「平成28年度 啓発委員研修」啓発委員のみなさんは奮って参加ください。

昨年度から始まった「啓発委員研修」を本年度も下記にて開講します。

- ・テーマ「気づきからはじめよう」~このまち大好き、わたし大好き~
- ・講師 三輪 真裕美さん(ヒューリアみえ研究員)
- ・日時 9月9日(金)19:00~20:00
- ・場所 常磐地区市民センター2F 大会議室



5 . 平成 28 年度の視察研修は「比叡山延暦寺」にて実施しました。

6月25日(日)常磐地区市民センターからバスで新緑の比叡山延暦寺を訪れました。

まず、延暦寺会館会議室で特別講演：「こころを観つめて～沈黙は差別を深めます～」(講師 天台宗 務庁人権啓発課 松岡順海 課長)を聴講したあと、国宝「根本中堂」と重文「大講堂」を御坊の案内で、見学をさせていただきました。(参加者 47名)



講演は、天台宗の「人権啓発」取り組みのうち、3つについてお話になりました。

- 1) 講演のタイトル「こころを観(み)つめて」の「観」の意味は、観音様の「観」をあてて、こころをただみるのではなく、自分のこころを広い視野で見つめようということです。また、サブタイトルの「～沈黙は差別を深めます～」は、目の前に何かしらの「差別」や「いじめ」があるのにだまって見過ごすこと、それは差別に加担することになることを自分自身のこころに問いかけてくださいという意味です。
- 2) 人権啓発重点課題「いのちの問題～子どもの人権～」伝教大師が御遺戒で「未来を切り開く子どもたちを大切に育てて欲しい」と、子どもへの乱暴な言葉遣いや体罰などを戒めています。怒鳴ったり、体罰でなく、間違っていることをしっかり教える努力が必要です。御遺戒に、「努力(つとめ)よ 努力(つとめ)よ」とありますが、この重みある教えを啓発しています。
- 3) ハンセン病差別の絵本「時の響きて」(平成27年度「人同協だより」3号 P1&P4 参照)を再版し無償配布中。昔、ハンセン病療養所へ布教に行き、療養者に「あなた自身が昔に犯した業(ごう)によって療養生活を送っているのだから諦めなさい」と、いわゆる「あきらめの布教」を行った反省の中から、差別や偏見の過ちをくり返してはいけないと発信しています。この様子は、バス内で記入願ったアンケート感想文に示されています。(原文のまま) 宗教界でも人権啓発活動をしていることを初めて知りました。伝教大師の御遺戒を説明して下さったのが、大変分かりやすく良かったです。広い心で「みる」という意味で、あえて「観」の字を使っていることが素晴らしいと思いました。ハンセン病や子どもの人権等、天台宗の方の多方面の活動に敬意を感じました。



大津市比叡山延暦寺会館前にて(写真・高島昭仁さん 提供)

編集後記：本年度も「人同協だより」は8月、11月、1月、3月、に発行を予定しています。「人権のオアシスひろば」は紙面の都合で次号に掲載いたします。視察研修の講演の様子は、DVDに収録(約30分)しましたので貸出できます。まちづくり事務局まで申し込み願います。(広報部 川村 浩)